

第132期 第3四半期決算説明会

2023年12月期
2023年1月1日～9月30日

2023年11月10日



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.

- 2023年第3四半期決算概要
 - 連結範囲の異動、関係会社の状況
 - 第3四半期決算概要

- 2023年度予想
 - 決算予想概要
 - 設備投資・減価償却・タイヤ生産能力、他
 - 株主還元

2Qから
変更ありません

連結子会社 97社 (△2社)

持分法適用会社 3社 (－社)

	新規 ー社	除外 △2社	新規 ー社	除外 ー社
タイヤ 		成都迪驾族汽车服务有限公司 (中国/販売)		
スポーツ 				
産業品他 		住ゴム高砂インテグレート(株) (日本/販売)		

2Qから
変更ありません

	製造会社	販売会社	その他の会社
タイヤ 	国内 1社	国内 11社	国内 7社
	海外 8社	海外 31社	海外 6社
	アジア・大洋州 4社	アジア・大洋州 10社	アジア・大洋州 2社
	欧州・アフリカ 2社	欧州・アフリカ 18社	欧州・アフリカ 2社
	米州 2社	米州 3社	米州 2社
スポーツ 	国内 1社	国内 1社	国内 3社
	海外 3社	海外 12社	海外 7社
	タイ、米国、フィリピン	マレーシア、英国、カナダ、オーストラリア、中国、香港、南アフリカ、韓国、タイ、フランス、ドイツ	英国
産業品他 	国内 1社	国内 2社	国内 - 社
	海外 5社	海外 1社	海外 - 社
	マレーシア、中国、ベトナム、スイス、スロベニア	香港	-

全**100**社
国内 27社
海外 73社

第3四半期ハイライト

- 23年7-9月の事業利益が**過去最高益（249億円）**を達成
- 物価上昇による金融引き締めや、地政学的緊張の影響があるものの経済環境は持ち直し
- 国内経済は賃金上昇を追い風に回復期待続くも、為替や物価動向などで不確実性が高い
- 海上輸送コストは対前年で大きく低下、原材料価格やエネルギーコスト高にも一服感

タイヤ



- 国内市販用は、7月からの冬タイヤ値上げ影響もあり販売はやや低調に推移
- 国内新車用は、自動車メーカーの生産制約は緩和、対前年で増販
- 海外市販用は、主力商品は好調も、不採算品の販売取りやめなどもあり前年割れ
- 海外新車用は、主要市場の中国で前年割れとなり、全体でも前年同期を下回る

スポーツ



- ゴルフ用品事業は、契約選手の活躍効果もあり北米・韓国を中心に販売好調を維持し対前年で増収

産業品他



- 医療用ゴム製品事業・インフラ事業の増収により対前年で増収

億円

	2023年 1-3月	前年 同期比	2023年 4-6月	前年 同期比	2023年 7-9月	前年 同期比	2023年 1-9月	前年 同期比	前年同期 2022年 1-9月
売上収益	2,768	110% +263	2,844	109% +228	2,895	107% +201	8,507	109% +692	7,815
事業利益 率	80 2.9%	54% △68	91 3.2%	- +97	249 8.6%	- +267	420 4.9%	339% +296	124 1.6%
※1,3									
営業利益 率	78 2.8%	55% △64	90 3.2%	- +106	246 8.5%	- +274	414 4.9%	421% +316	98 1.3%
※3									
四半期利益	40	34% △77	42	77% △12	190	- +218	272	189% +128	144
※2,3									

※1.事業利益：売上収益－(売上原価+販売費及び一般管理費)

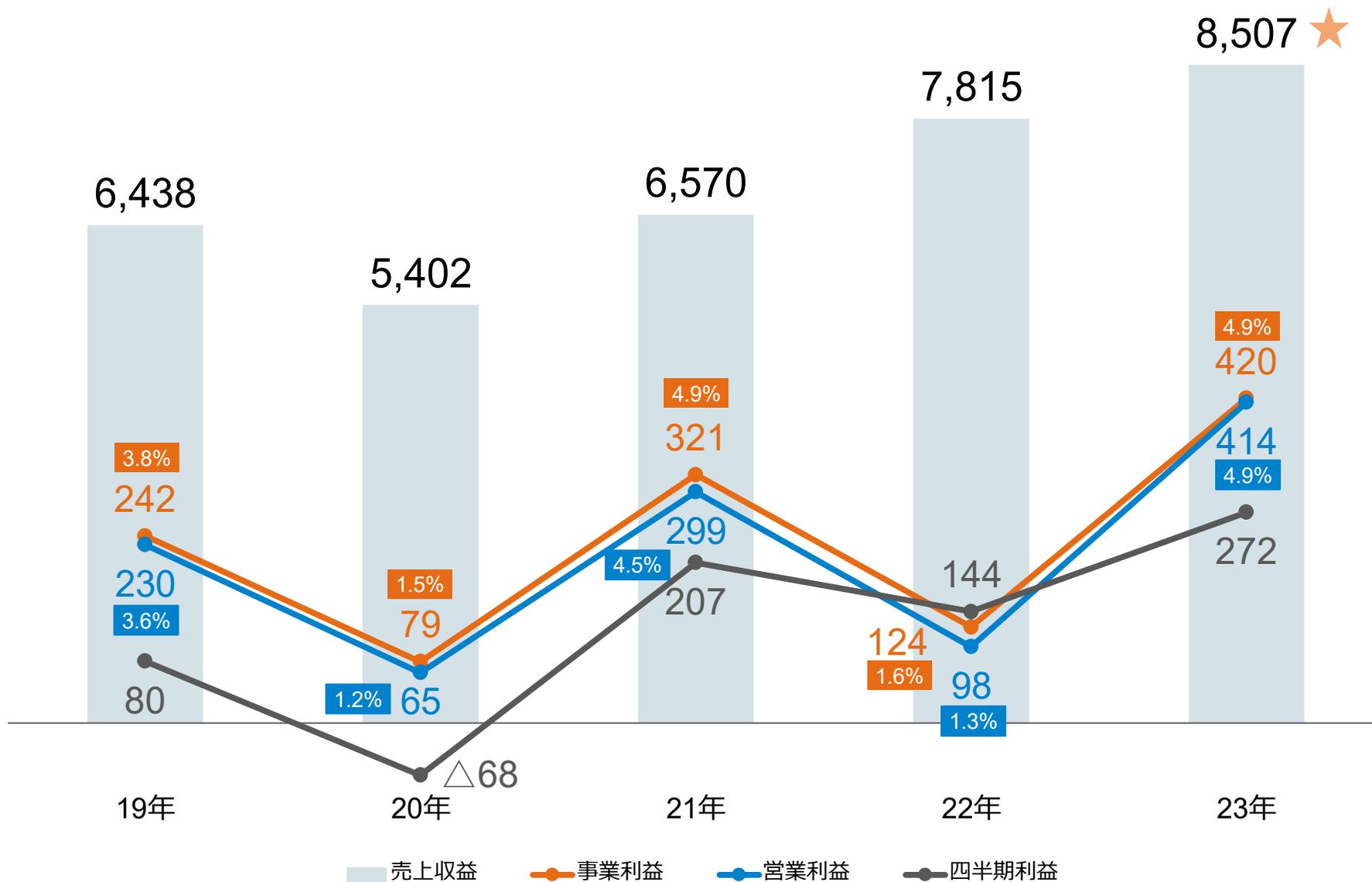
※2.四半期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

※3.2022年第2四半期より、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に従い、会計上の調整を加えております。

当資料では全頁にわたり上記※1,2,3を適用しております。

1-9月 連結売上収益・利益の推移

単位：億円 %：利益率 ★：過去最高



2023年1-9月 セグメント別 連結売上収益・事業利益

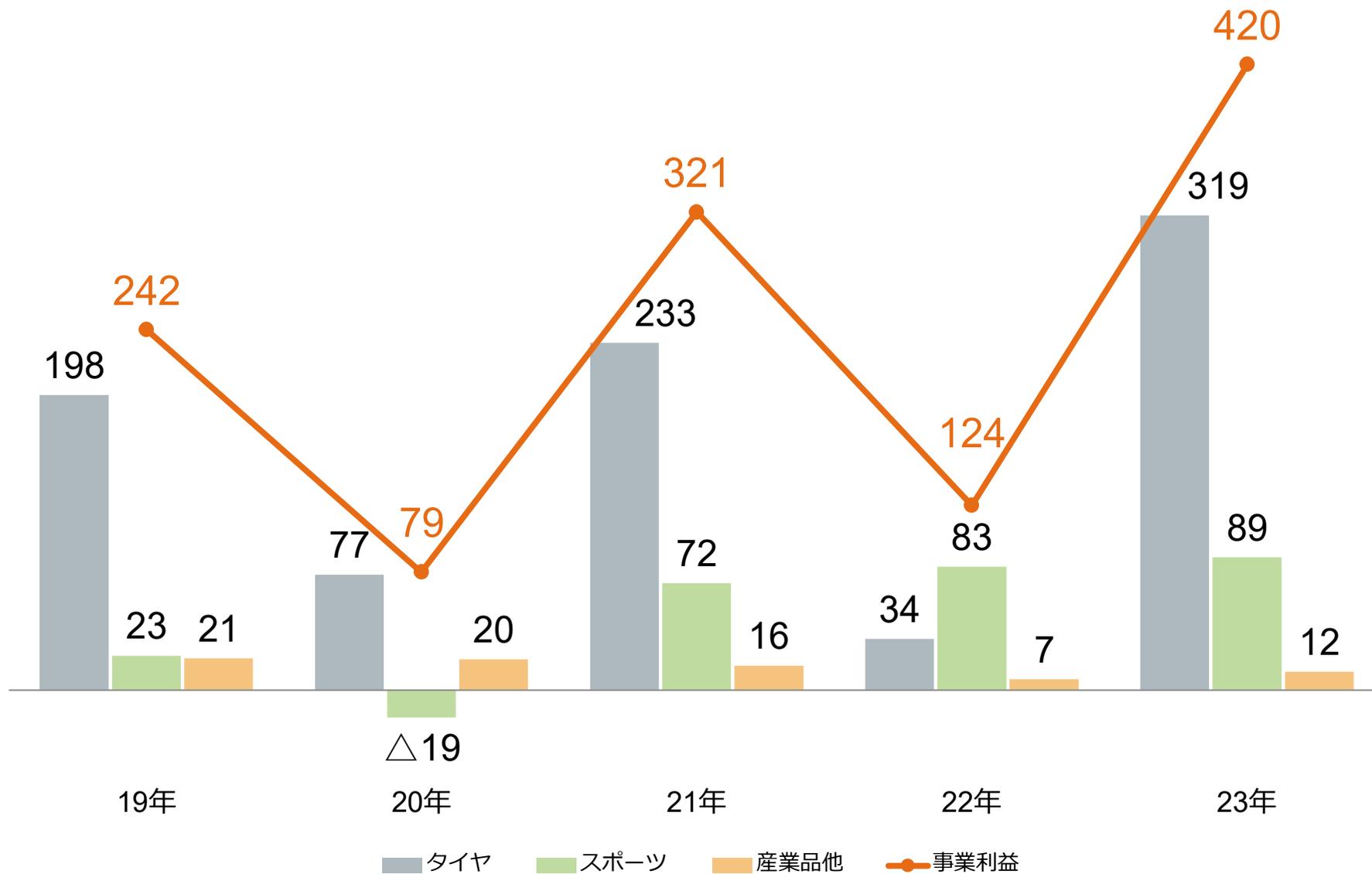


億円

	2023年 1-3月	前年 同期比	2023年 4-6月	前年 同期比	2023年 7-9月	前年 同期比	2023年 1-9月	前年 同期比	前年同期 2022年 1-9月
売上 収益	タイヤ	2,298	109%	2,413	110%	2,495	7,206	109%	6,613
	スポーツ	355	119%	327	103%	291	973	108%	899
	産業品他	115	116%	104	107%	109	329	108%	303
	合計	2,768	110%	2,844	109%	2,895	8,507	109%	7,815
事業 利益	タイヤ	19	18%	78	-	221	319	935%	34
	スポーツ	55	137%	10	44%	25	89	108%	83
	産業品他	6	166%	3	-	3	12	170%	7
	合計	80	54%	91	-	249	420	339%	124

1-9月 事業セグメント別 連結事業利益の推移

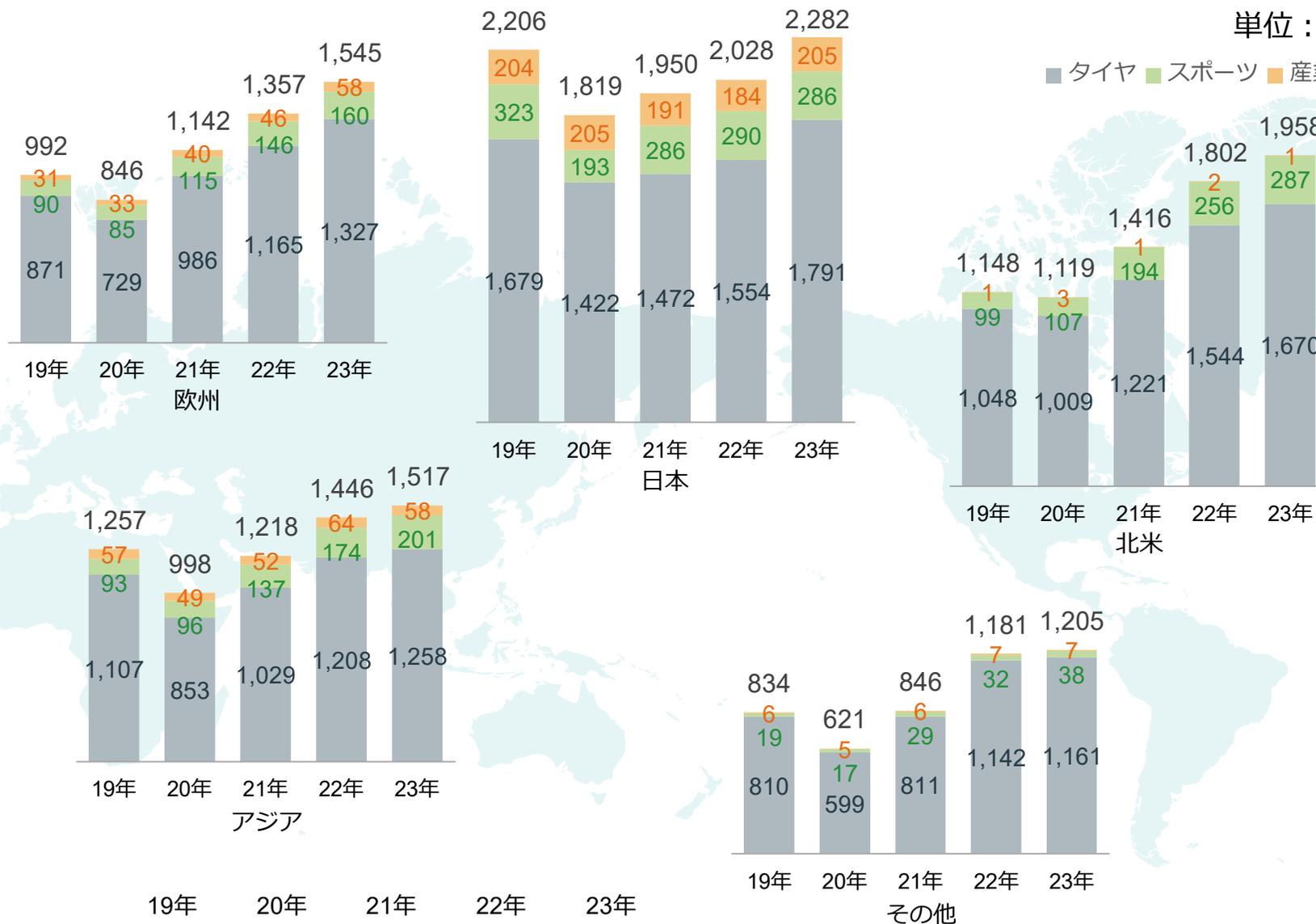
単位：億円



1-9月 仕向地別 売上収益の推移

単位：億円

■ タイヤ ■ スポーツ ■ 産業品他



	19年	20年	21年	22年	23年
連結売上	6,438	5,402	6,570	7,815	8,507
海外比率	66%	66%	70%	74%	73%

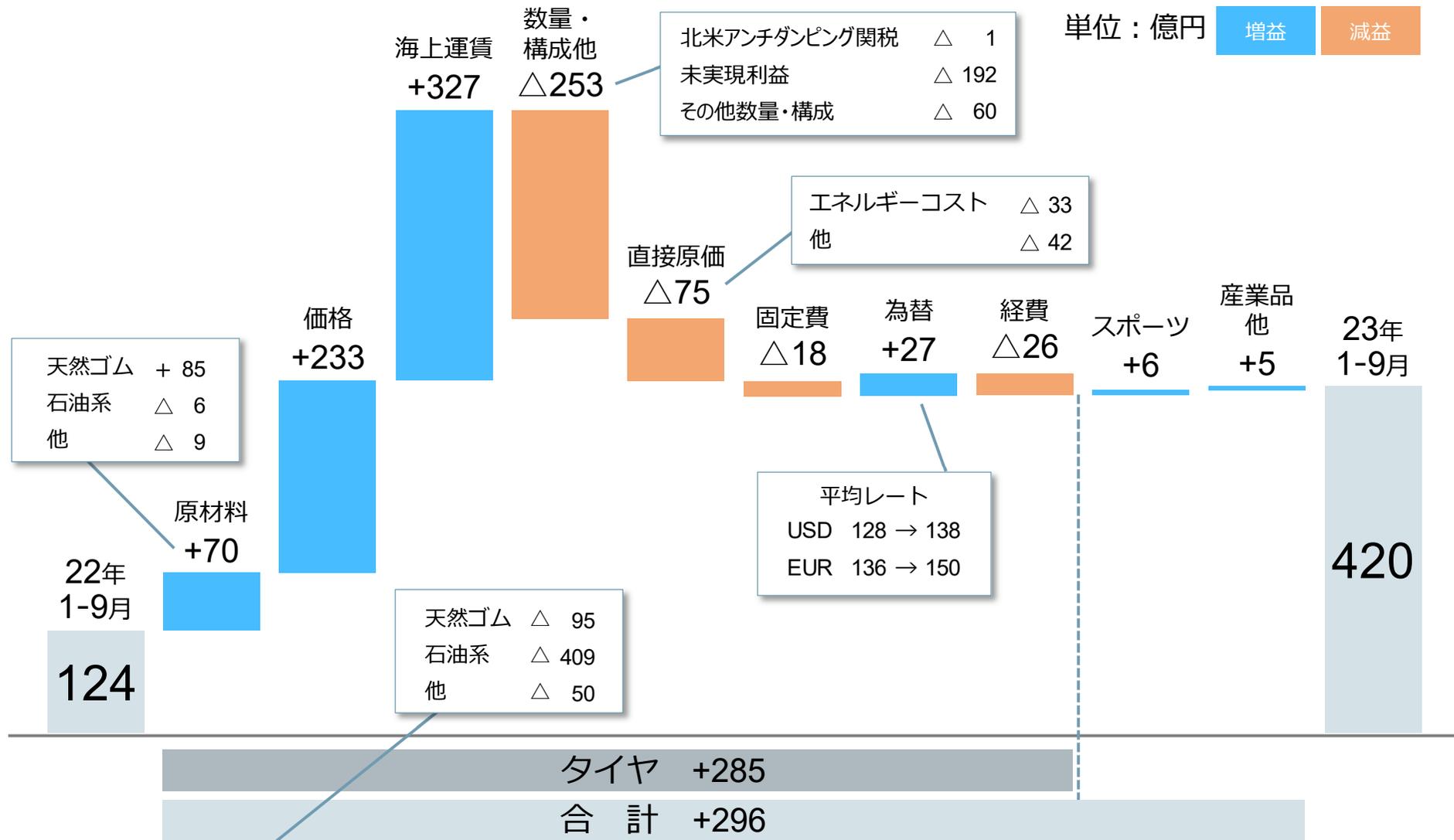
※当ページでの売上は顧客の所在地に基づき、国または地域に区分しております。

2023年1-9月 連結事業利益 増減要因イメージ

単位：億円

増益

減益



	原材料	価格	海上運賃	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	合計
21年→22年	△554	+508	△239	+242	△92	△24	△11	△29	+11	△9	△197
20年→21年	△181	+120	△104	+282	+68	△39	+40	△30	+90	△4	+242

億円

	2022年 1-9月	2023年 1-9月	増減
売上収益	7,815	8,507	+692
売上原価	△5,981	△ 6,297	△316
販売費及び一般管理費	△1,710	△ 1,790	△80
事業利益	124	① 420	+296
その他の収益	24	② 19	△5
その他の費用	△50	③ △24	+25
営業利益	98	414	+316
金融収益	171	④ 103	△68
金融費用	△26	⑤ △52	△26
持分法による投資損益	1	△0	△1
税引前四半期利益	243	465	+221
法人所得税費用	△80	△ 187	△107
非支配持分	△20	△ 6	+14
四半期利益	144	272	+128

実績の概要

① 事業利益

詳細はP.6-11参照

② その他の収益

その他営業外収益
その他特別利益
政府補助金収入

実績内訳
13億円
3億円
1億円

対前年増減
+1億円
+0億円
△7億円

③ その他の費用

その他営業外費用
固定資産除却損
その他特別損失
減損損失

△11億円
△7億円
△4億円
△1億円

+4億円
+3億円
+5億円
+13億円

④ 金融収益

正味貨幣持高に係る利得
受取利息
為替差益

76億円
22億円
-

+42億円
+6億円
△108億円

⑤ 金融費用

支払利息
為替差損

△47億円
△5億円

△20億円
△5億円

億円

	前期実績 2022/12末	当期実績 2023/9末	増減
流動資産	6,239	6,409	① +170
非流動資産	6,013	6,442	② +429
資産合計	12,252	12,851	+599
流動負債	3,529	3,617	+87
非流動負債	3,084	2,882	△202
負債合計	6,613	6,499	③ △115
自己資本	5,462	6,181	④ +719
非支配持分	177	171	△5
資本合計	5,639	6,352	+714
負債及び資本合計	12,252	12,851	+599
自己資本比率	44.6%	48.1%	+3.5P

主な増減要因

- ① **流動資産**
 - 現金及び現金同等物 +67億円
 - 営業債権及びその他の債権 +59億円
 - その他の流動資産 +57億円

対前期末増減
- ② **非流動資産**
 - 有形固定資産 +234億円
 - 無形資産（のれん含） +74億円
- ③ **負債合計**
 - 有利子負債 △341億円
(3,728 → 3,387)
 - その他の流動負債 +140億円
- ④ **自己資本**
 - 四半期利益 +272億円
 - 配当支払 △53億円
 - 為替換算調整額 +458億円

2023年度 連結業績予想

億円

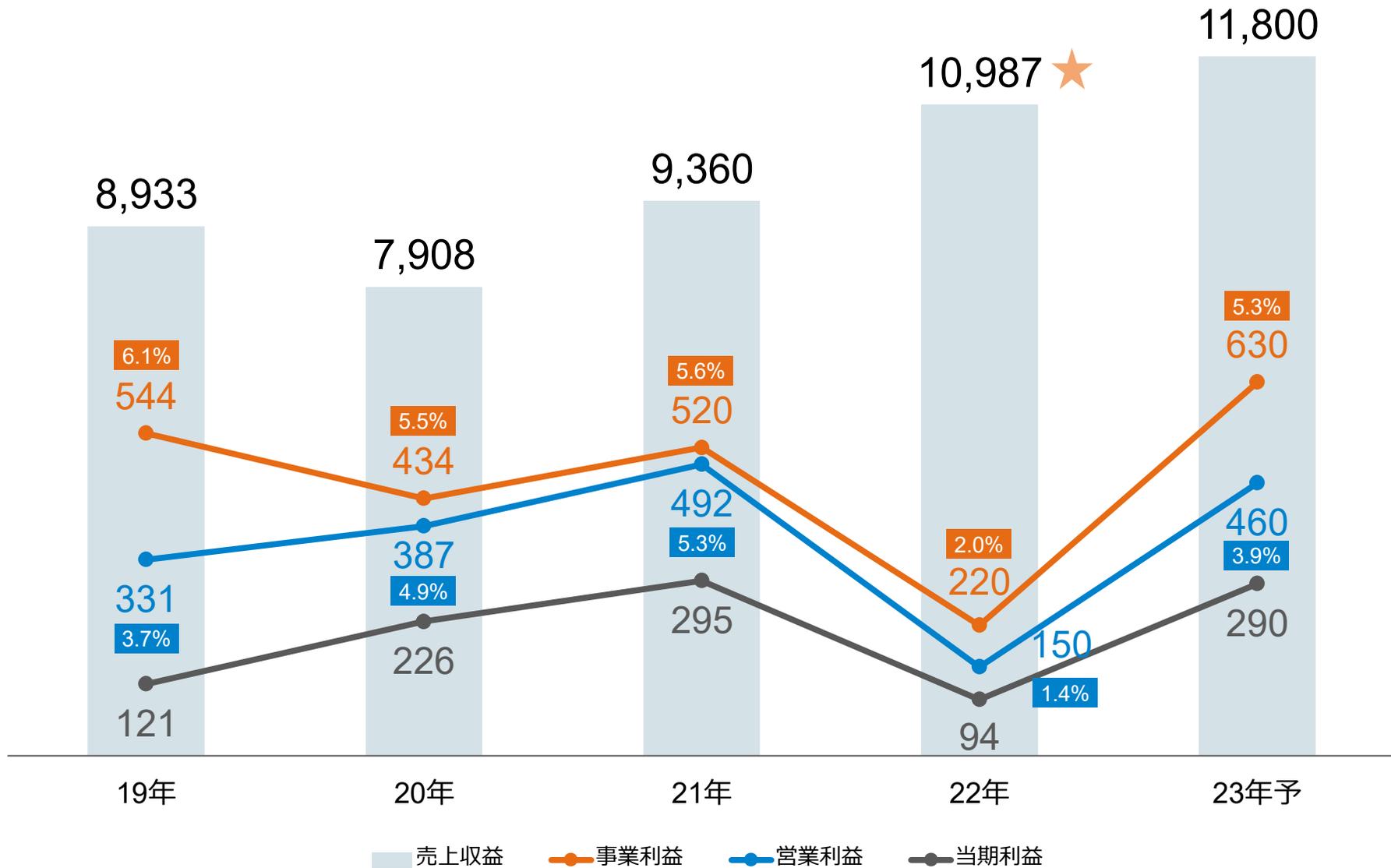
	今回予想 2023年	前期実績 2022年	前期比	2Q時予想 2023年	年初予想 2023年
売上収益	11,800	10,987	107%	11,700	12,000
事業利益 率	630 5.3%	220 2.0%	287%	500 4.3%	350 2.9%
営業利益 率	460 3.9%	150 1.4%	307%	410 3.5%	300 2.5%
当期利益	290	94	308%	230	180
ROIC <small>※1</small>	4.6%	1.7%		3.7%	2.6%
ROE	5.0%	1.8%		4.1%	3.2%
ROA <small>※2</small>	5.1%	1.9%		4.1%	2.8%
D/E Ratio	0.6	0.7		0.6	0.7

※1.ROIC : 「税引後事業利益」÷「投下資本」

※2.ROA : 「事業利益」÷「総資産」

連結売上収益・利益の推移

単位：億円 %：利益率 ★：過去最高



2023年度 セグメント別 連結売上収益・事業利益予想

億円

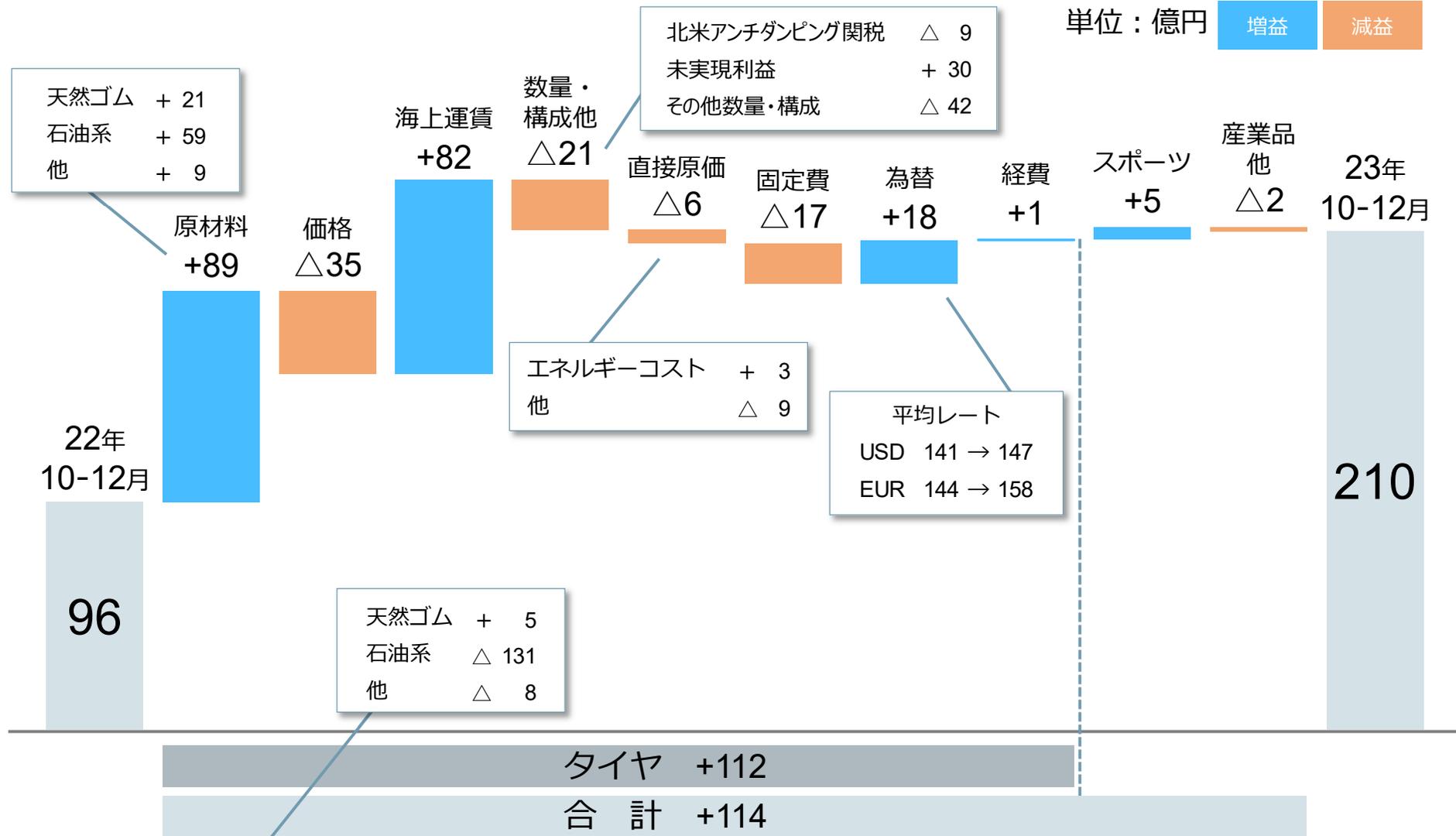
		今回予想 2023年	前期実績 2022年	前期比	2Q時予想 2023年	年初予想 2023年
売上 収益	タイヤ	10,105	9,399	108%	10,010	10,225
	スポーツ	1,255	1,166	108%	1,245	1,325
	産業品他	440	421	104%	445	450
	合計	11,800	10,987	107%	11,700	12,000
事業 利益	タイヤ	520	123	422%	390	260
	スポーツ	100	89	112%	100	80
	産業品他	10	7	141%	10	10
	合計	630	220	287%	500	350

2023年10-12月 連結事業利益 増減要因イメージ

単位：億円

増益

減益



	原材料	価格	海上運賃	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	合計
21Q4 \rightarrow 22Q4	$\Delta 134$	+181	+27	$\Delta 105$	$\Delta 55$	+5	$\Delta 16$	+6	$\Delta 8$	$\Delta 4$	$\Delta 103$
20Q4 \rightarrow 21Q4	$\Delta 189$	+126	$\Delta 119$	+23	$\Delta 9$	$\Delta 12$	+9	+19	+4	$\Delta 8$	$\Delta 156$

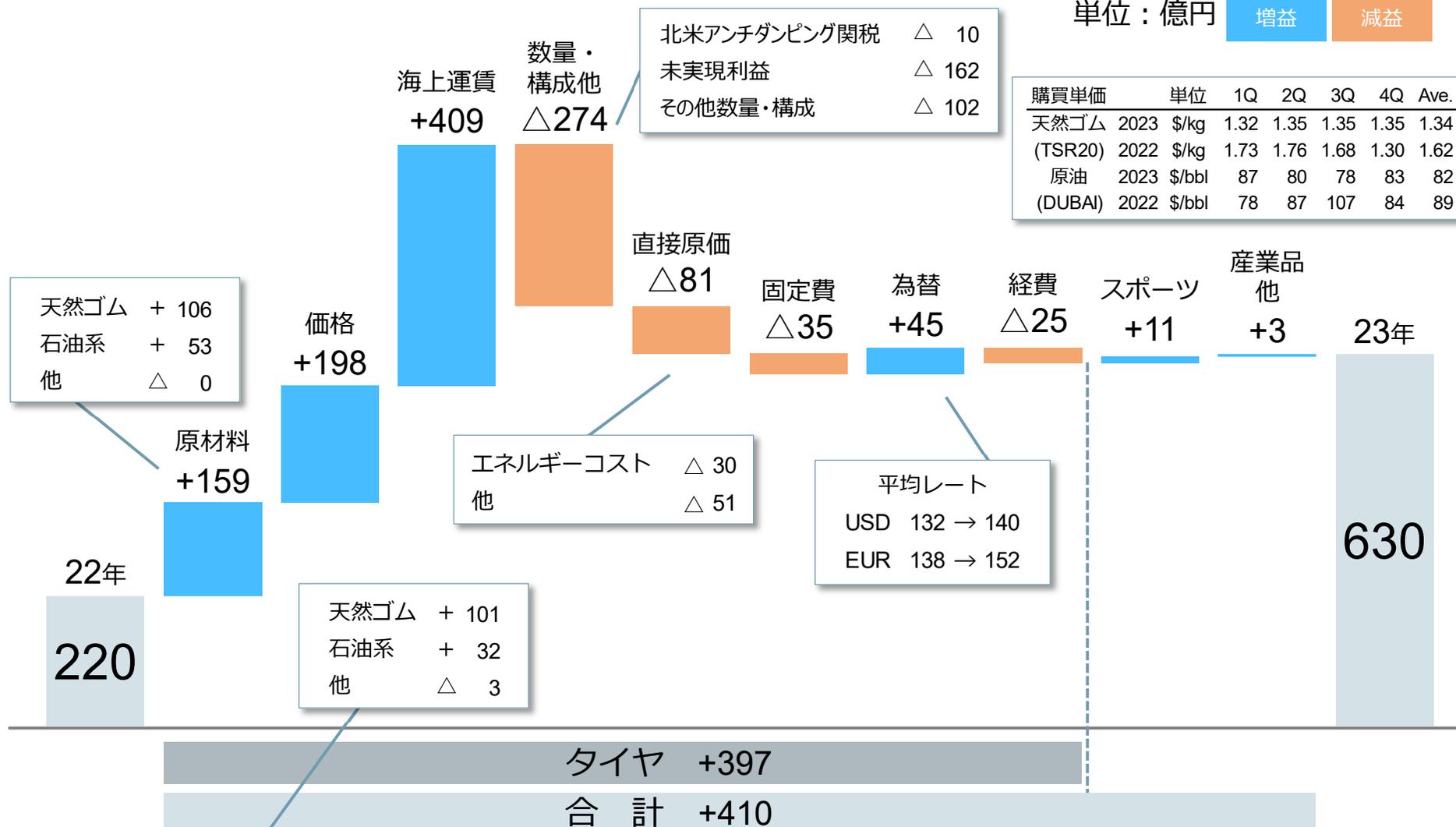
2023年度 連結事業利益 増減要因イメージ

単位：億円

増益

減益

購買単価	単位	1Q	2Q	3Q	4Q	Ave.
天然ゴム	2023 \$/kg	1.32	1.35	1.35	1.35	1.34
(TSR20)	2022 \$/kg	1.73	1.76	1.68	1.30	1.62
原油	2023 \$/bbl	87	80	78	83	82
(DUBAI)	2022 \$/bbl	78	87	107	84	89



	原材料	価格	海上運賃	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	合計
2Q時予想	+130	+150	+402	△282	△61	△38	△12	△23	+11	+3	+280
21年→22年	△688	+689	△212	+137	△147	△19	△27	△23	+3	△13	△300

連結事業利益 増減要因の推移

億円

期間	事業利益		増減要因										
		前年同期比	原材料	価格	海上運賃	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	
22年	1-3月	148	△14	△197	+151	△112	+170	△20	△6	+0	△12	+15	△3
	4-6月	△6	△145	△177	+169	△105	+35	△34	△8	+1	△13	△8	△5
	7-9月	△18	△38	△180	+188	△22	+37	△38	△10	△12	△4	+4	△1
	10-12月	96	△103	△134	+181	+27	△105	△55	+5	△16	+6	△8	△4
	前期	220	△300	△688	+689	△212	+137	△147	△19	△27	△23	+3	△13
23年	1-3月	80	△68	△45	+108	+105	△194	△39	△7	△3	△10	+15	+2
	4-6月	91	+97	+12	+81	+108	△67	△26	△0	+6	△8	△13	+4
	7-9月	249	+267	+103	+44	+114	+8	△10	△11	+24	△8	+4	△1
	10-12月	210	+114	+89	△35	+82	△21	△6	△17	+18	+1	+5	△2
	当期	630	+410	+159	+198	+409	△274	△81	△35	+45	△25	+11	+3
2Q時予想との差			+130	+29	+48	+7	+8	△20	+3	+57	△2	+0	+0

タイヤ販売本数 前年同期比推移

対前年	2022年実績					2023年1-9月実績、10-12月予想					2023年2Q時予想			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間	1-6月	7-12月	年間	
国内新車	81%	84%	122%	111%	98%	112%	121%	108%	111%	113%	116%	110%	113%	
国内市販	116%	93%	111%	92%	101%	98%	108%	89%	99%	98%	103%	96%	99%	
海外新車	106%	102%	136%	101%	110%	101%	108%	92%	99%	99%	104%	97%	100%	
海外市販	97%	93%	91%	81%	90%	87%	94%	97%	97%	93%	90%	104%	97%	
海外市販内訳	北米	90%	91%	76%	72%	82%	81%	92%	109%	98%	94%	86%	106%	95%
	欧州	106%	98%	84%	92%	95%	90%	85%	100%	94%	92%	88%	97%	92%
	アジア	88%	86%	104%	73%	87%	91%	104%	89%	95%	95%	98%	109%	103%
	その他	105%	98%	103%	89%	99%	85%	93%	91%	101%	92%	89%	103%	96%
計	99%	93%	104%	89%	96%	94%	101%	96%	100%	97%	97%	102%	100%	
合計本数 (万本)	2,818	2,660	2,807	2,861	11,146	2,645	2,686	2,685	2,848	10,865	5,331	5,762	11,093	

カテゴリ別タイヤ販売本数 前年同期比

対前年同期	2022年1-9月実績				2022年1-12月実績			
	新車	市販	計	構成比	新車	市販	計	構成比
乗用車用	105%	95%	98%	87%	105%	92%	96%	87%
うち高機能タイヤ※1	106%	93%	97%	34%※2	105%	91%	96%	35%※2
トラック・バス用	95%	98%	97%	4%	97%	96%	96%	4%
二輪・産業用他	104%	112%	109%	9%	109%	98%	102%	9%
合計	105%	97%	99%	100%	105%	93%	96%	100%

対前年同期	2023年1-9月実績				2023年1-12月予想			
	新車	市販	計	構成比	新車	市販	計	構成比
乗用車用	104%	95%	98%	88%	104%	96%	98%	87%
うち高機能タイヤ※1	115%	104%	108%	38%※2	119%	101%	108%	38%※2
トラック・バス用	111%	82%	84%	3%	116%	83%	85%	4%
二輪・産業用他	110%	81%	91%	9%	109%	89%	97%	9%
合計	105%	93%	97%	100%	105%	94%	97%	100%

<年度別高機能タイヤ構成比率推移> ※2

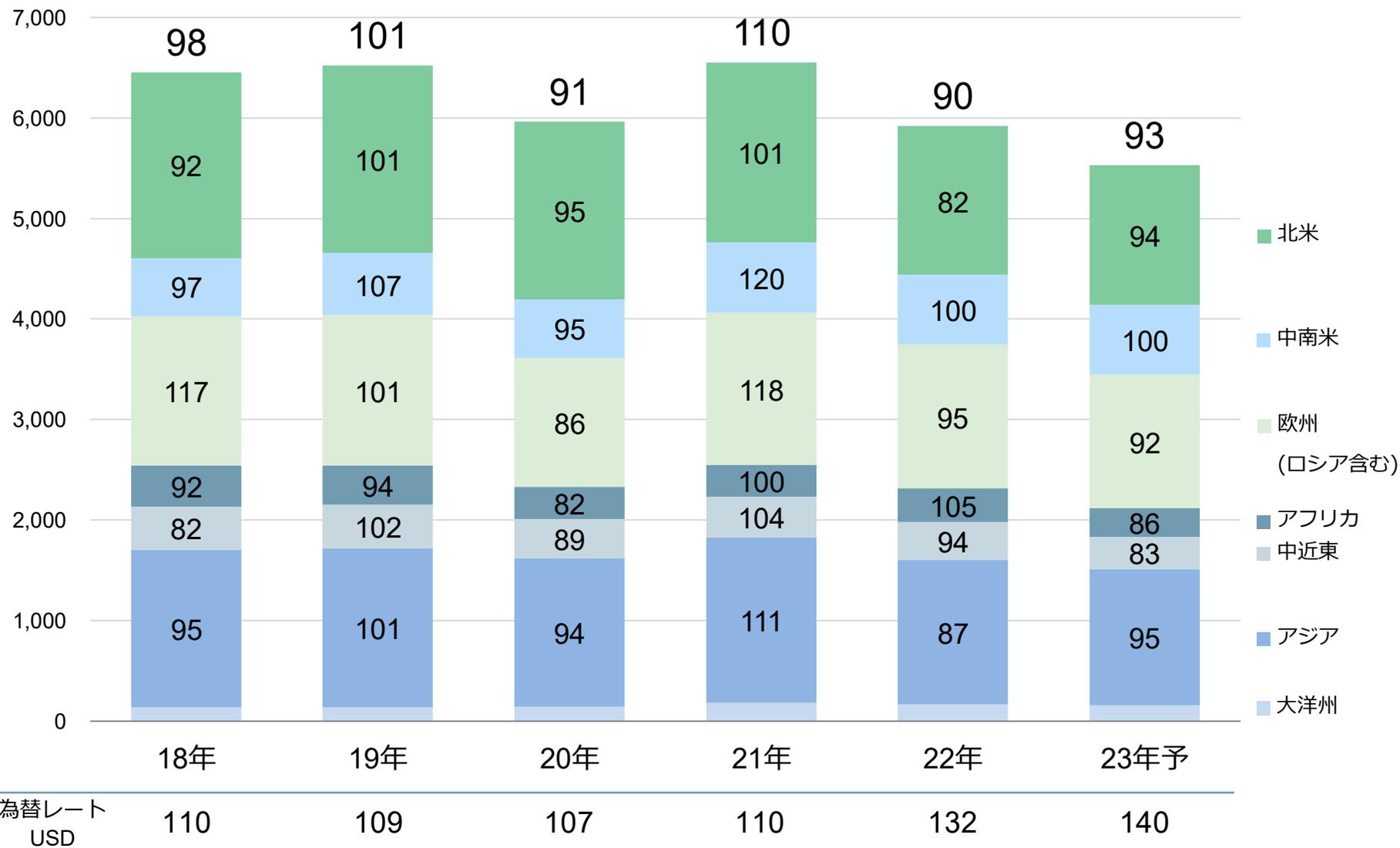
		2021年実績	2022年実績	2023年予想
高機能 タイヤ ※1	新車	44%	44%	51%
	市販	31%	31%	32%
	計	34%	35%	38%

※1.高機能タイヤ：主にSUV用タイヤ及び18インチ以上の乗用車用タイヤ
 ※2.乗用車用タイヤに対する構成比率

タイヤ海外市販 年間販売本数 地域別推移

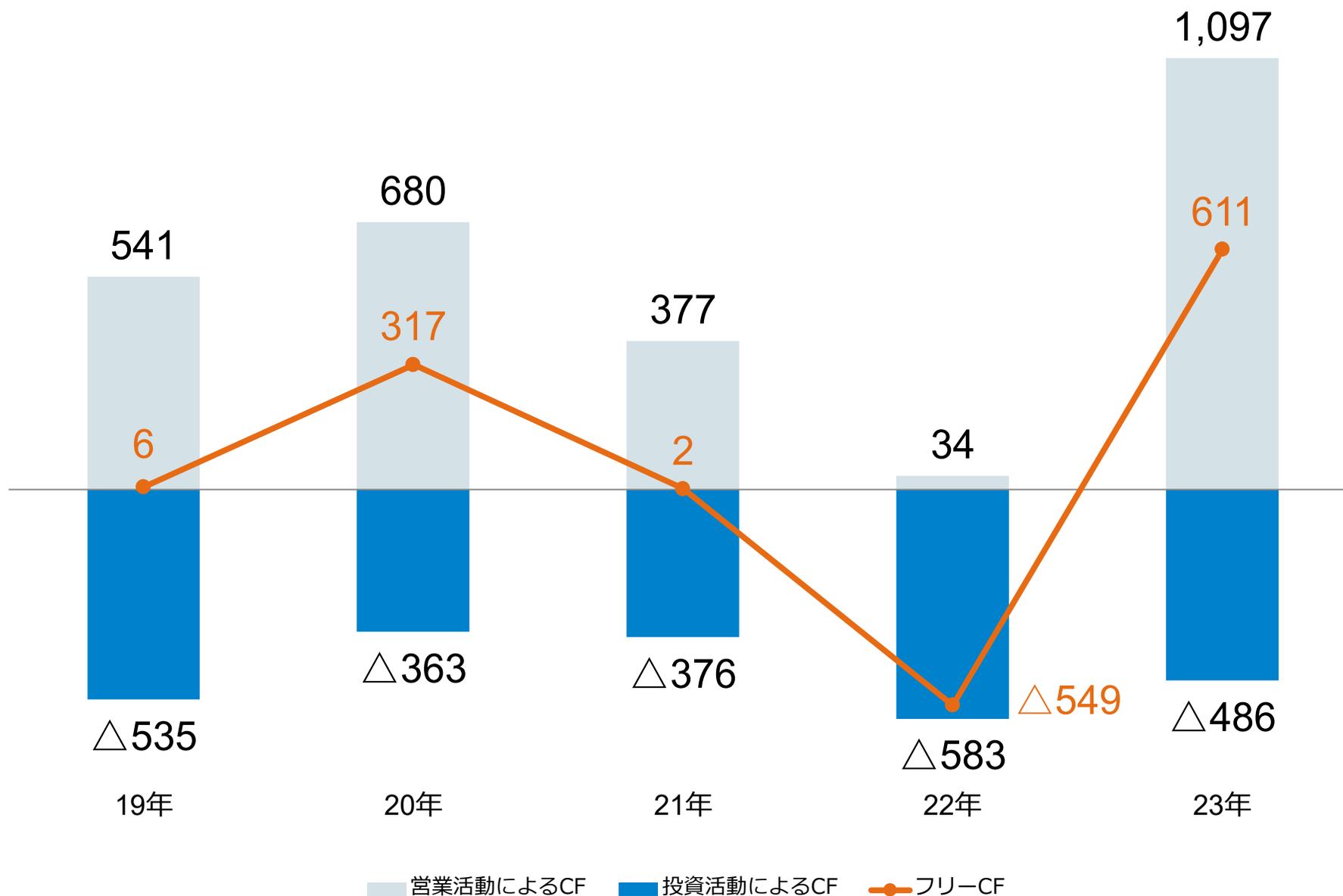
※グラフ内の数字は地域ごとの前年比（%）を示しております。

単位：万本



1-9月 キャッシュ・フローの推移

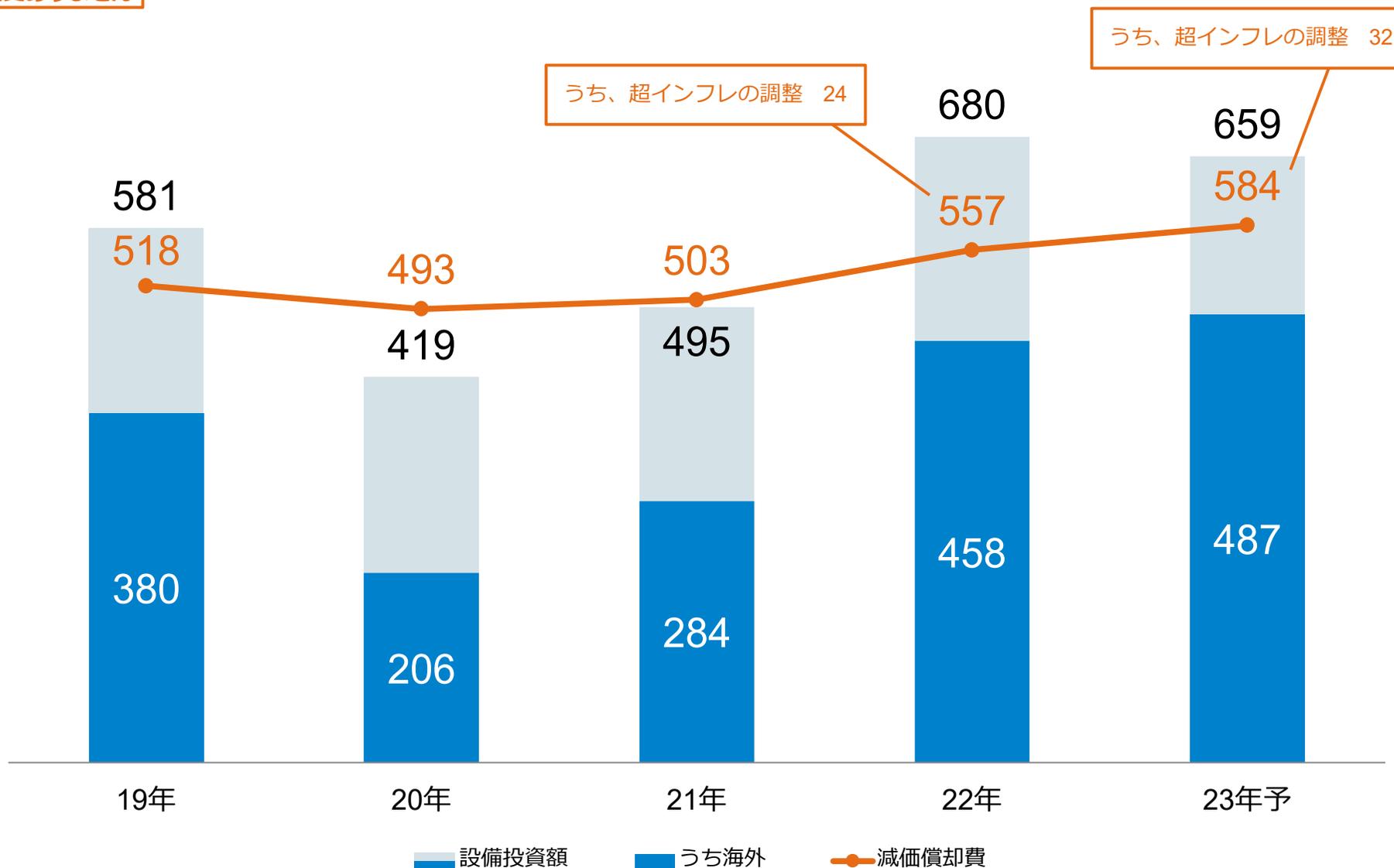
単位：億円



設備投資額、減価償却費（有形）の推移

単位：億円

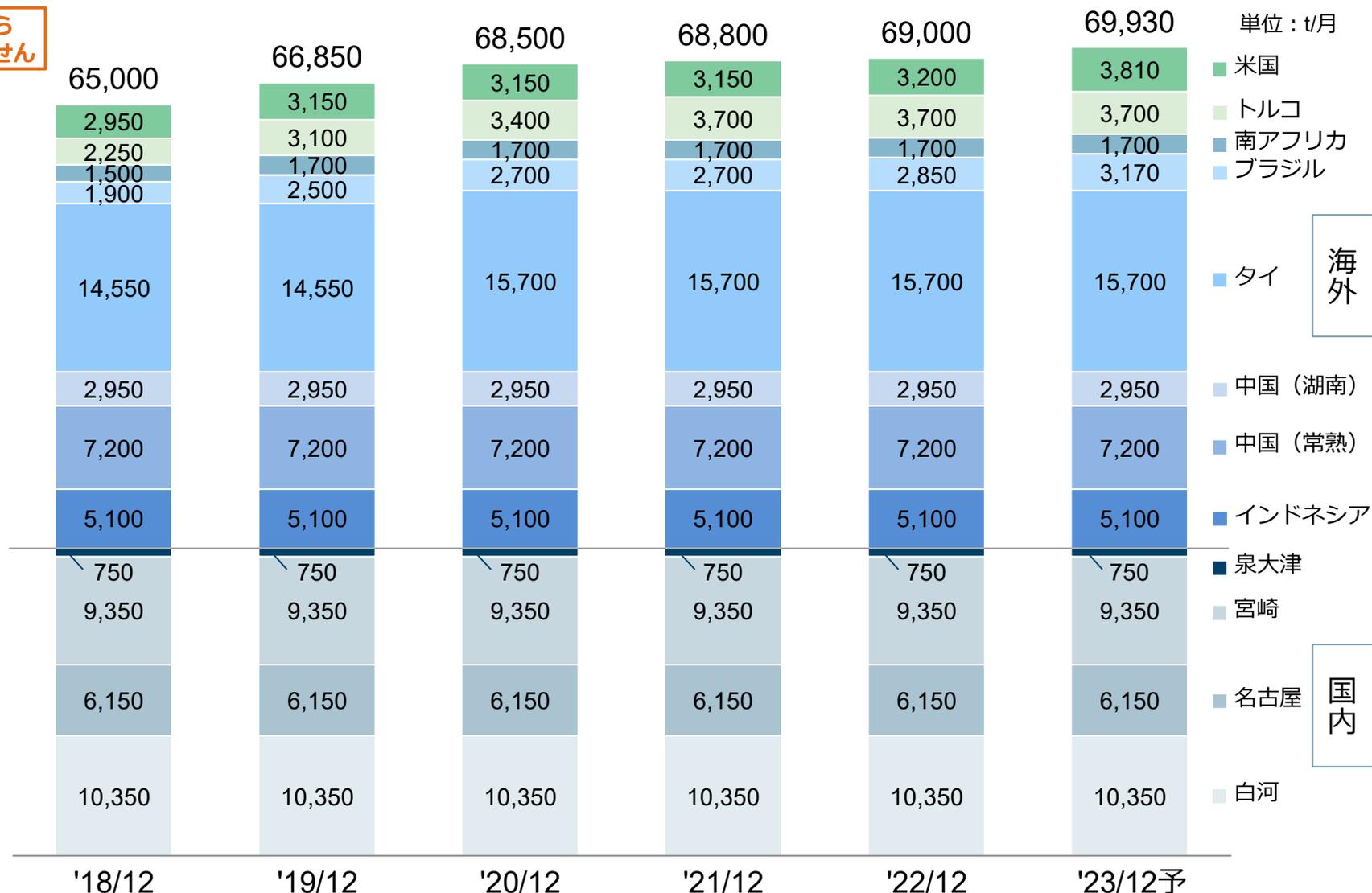
年初予想から
変更ありません



※2019年よりIFRS16号（リース）適用の影響を含みません。

タイヤ生産能力の推移

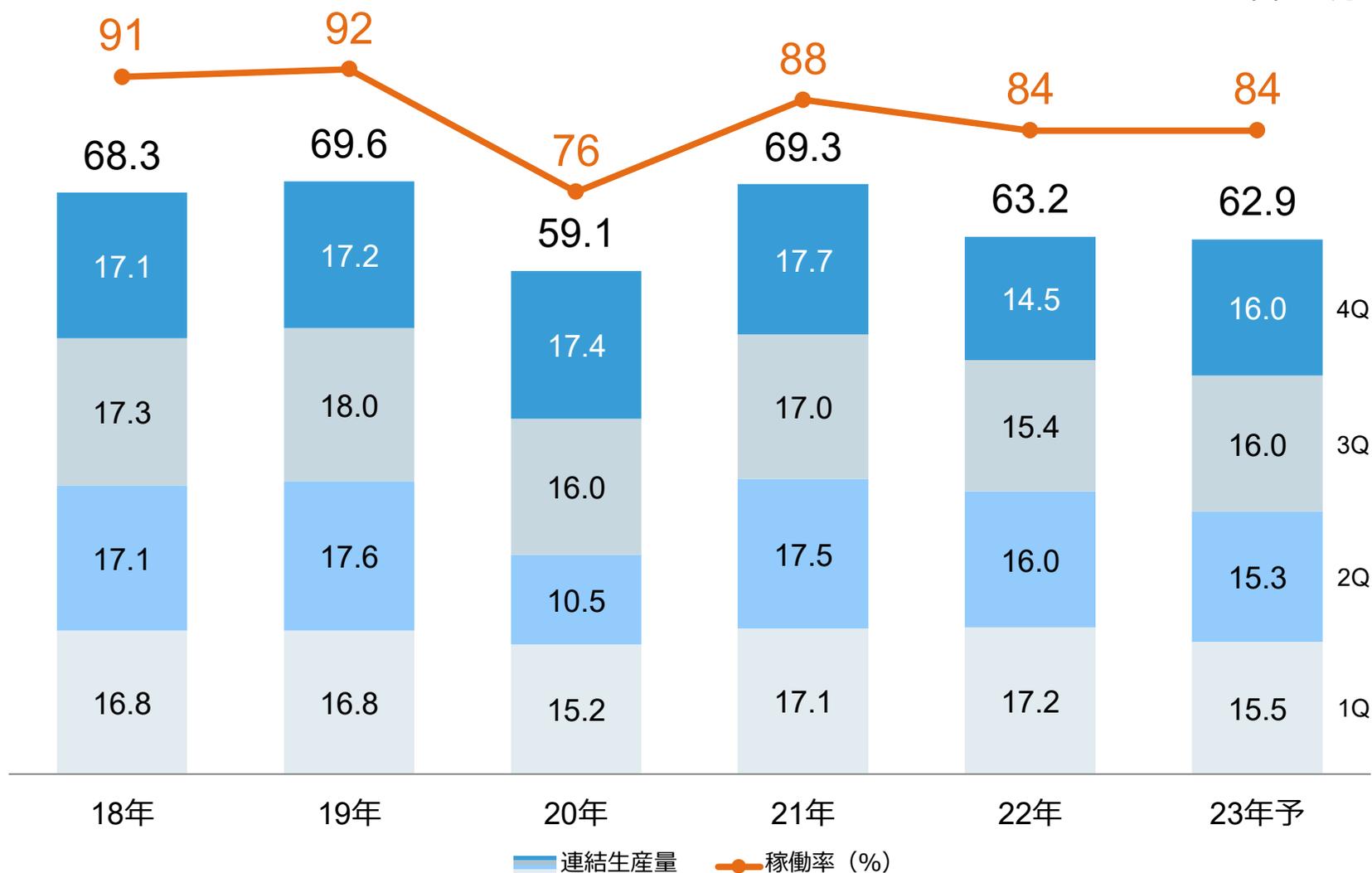
年初予想から
変更ありません



海外比率	59%	60%	61%	61%	61%	62%
対前年	103%	103%	102%	100%	100%	101%

タイヤ設備稼働率、生産量の推移

単位：万t

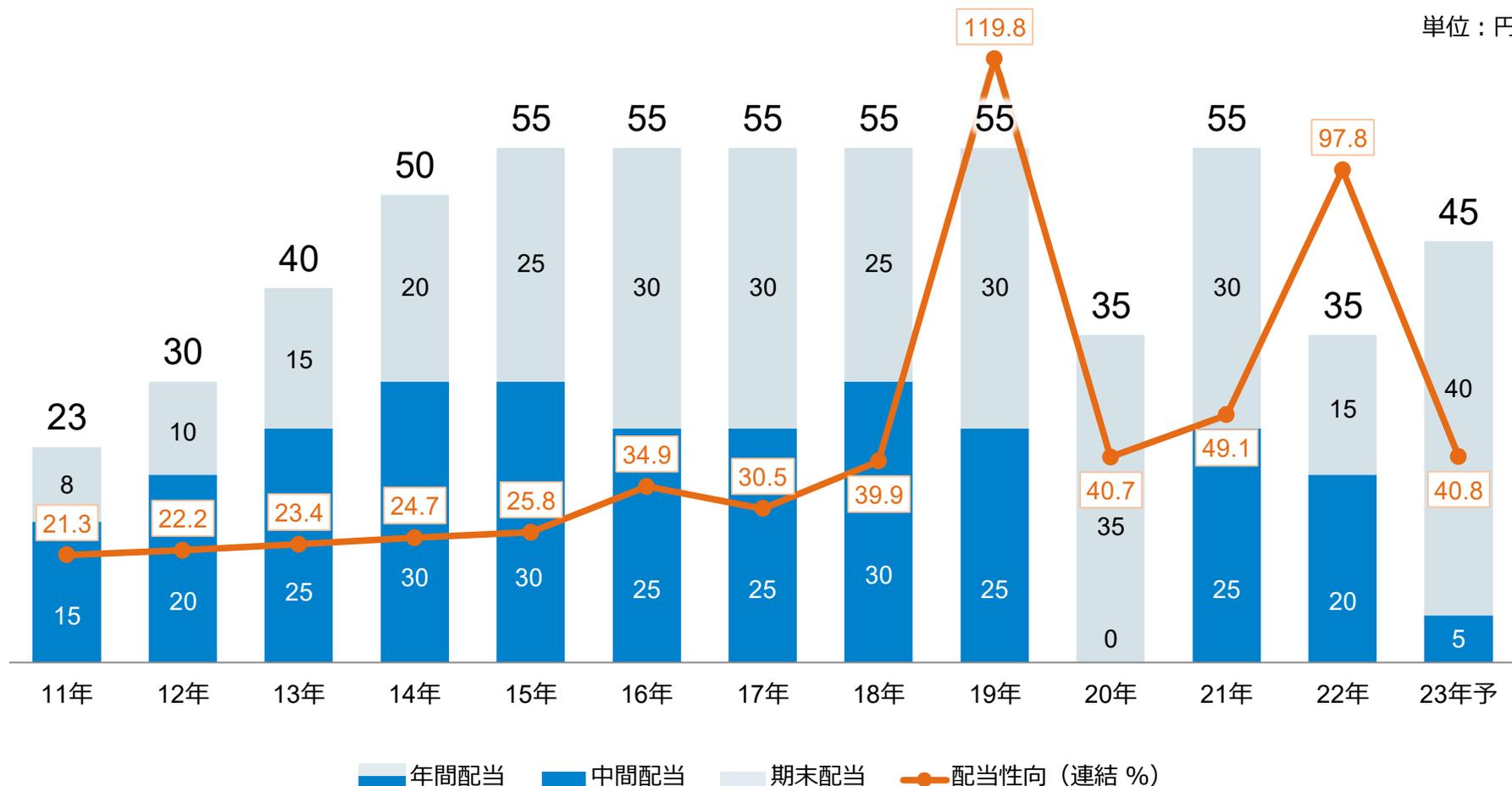


海外比率	62%	61%	63%	63%	63%	64%
対前年	101%	102%	85%	117%	91%	100%

当社は株主への利益還元を最重要課題と認識して、連結ベースでの配当性向、業績の見通し、内部留保の水準等を総合的に判断しながら、長期にわたり安定して株主に報いることを基本方針としております。

2023年年間配当予想について：

2023年通期業績予想が2Q時予想を上回ることから、1株当たり期末配当金を40円（2Q時予想35円）、年間配当金を45円とする予定です。



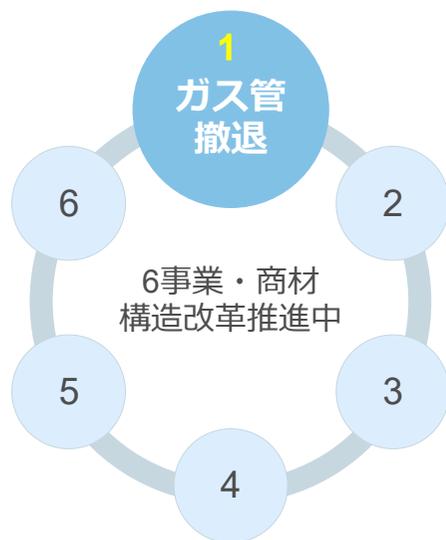
ガス管事業からの撤退を決定

2023年10月3日発表

- 市場が縮小傾向であるガス管事業から撤退し、成長事業へのリソース集中・活用を進める
- 順次、生産・出荷を停止し、2025年3月末までの完全事業撤退を目指す
- 本事業撤退による連結業績への影響は軽微

<新中期計画振り返り>

- 新中期計画において2025年までを「既存事業の選択と集中」の期間と位置づけ
- 6事業・商材は構造改革を推進しており、その他についても方向性を検討中
- ROIC改善は最大**+2.5ポイント**となる見込み



	ROIC改善 (最大時)	対象投下資本	事業利益 改善効果	目途付け時期
6事業・商材	+2.0P	1,400億円	+200億円	23年～24年
その他	+0.5P	400億円	+30億円	24年～25年
合計	+2.5P	1,800億円	+230億円	

(2022年実績ベース)

あらゆる道にシンクロするゴム アクティブトレッドを初公開

TYPE WET

1

水での変化
硬い⇔軟らかい
(濡れると軟らかくなる)

TYPE ICE

2

温度での変化
硬い⇔軟らかい
(冷たいと軟らかくなる)



2023年10月26日

JAPAN MOBILITY SHOW 2023において
アクティブトレッドのプレスブリーフィ
ングを実施。

プレスブリーフィングの様子はこちら (YOUTUBE)

▶ <https://youtu.be/XtBd8FKC56s>



EV化が急速に進む
中国市場向けに発売
した当社初の市販用
EVタイヤ

e.SPORT MAXX



EVバス導入の加速
を受けて発売した国
内メーカー初のEV
路線バス向け市販用
タイヤ

**e.ENASAVE
SP148**



当社最高レベルの低
燃費(電費)性能を誇
る欧州市場向け市販
用EVタイヤ

e.ZIEX



国内トップブランド
のひとつとして定評
のある「ゼクシオ」
ゴルフクラブの13代
目

XXIO 13



※12月9日発売予定

直近の取り組み

詳細は弊社ウェブサイトからニュースリリースをご参照ください。(<https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2023/index.html>)

- 10月 ● 天然ゴムの持続可能な調達に向け天然ゴムに特化したリスク評価ツールを導入
 - 8月 ● 住友理工・住友ゴム・住友電工が協業して、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを加速
～米国のバイオ技術会社LanzaTechとの廃棄物のリサイクルに関する共同開発に3社で参画～
 - 4月 ● 福島県のタイヤ工場にて「水素エネルギーを活用したタイヤ製造のお披露目会」を開催
 - 3月 ● 「スポーツエールカンパニー2023」に初認定 ～「健康経営優良法人2023（ホワイト500）」にも7年連続で認定～
タイヤ事業におけるサーキュラーエコノミー構想「TOWANOWA（トワノワ）」を策定
 - 2月 ● タイのタイヤ工場における電力のゼロカーボン化への取り組み
～世界最大※の屋根置き太陽光発電設備の設置および購入電力を再生可能エネルギー由来へ切り替え～
- 2023**
- 12月 ● 国際的な環境イニシアチブ「RE100」に賛同
 - 11月 ● 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」（事務局：内閣府）への参加
LGBTQ+への取り組み評価指標「PRIDE指標2022」で「ゴールド」を受賞
 - 7月 ● 「住友ゴムグループ 健康経営宣言」を改定
 - 5月 ● 国連グローバル・コンパクトに署名
 - 4月 ● 兵庫県のゴルフボール工場が「令和4年度緑化推進運動 功労者内閣総理大臣表彰」を受賞
 - 3月 ● 「健康経営銘柄2022」の50社に選定
 - 1月 ● 中国のタイヤ工場にて電力の100%再生可能エネルギー化を実現



2022

※2023年2月1日時点の単一事業所屋根置き太陽光発電設備において（関西電力調べ）

弊社ウェブサイトよりご覧いただけます。

IRライブラリ	日本語	https://www.srigroup.co.jp/ir/library/index.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/ir/library/
ファクトブック	日本語	https://www.srigroup.co.jp/ir/library/factbook.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/ir/library/annual-report/index.html
決算短信/決算説明会資料	日本語	https://www.srigroup.co.jp/ir/library/financial-report/index.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/ir/library/financial-report/index.html
統合報告書	日本語	https://www.srigroup.co.jp/sustainability/information/download.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/report.html
コーポレート・ガバナンス報告書	日本語	https://www.srigroup.co.jp/corporate/governance.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/corporate/governance.html
コーポレート・ガバナンス体制	日本語	https://www.srigroup.co.jp/sustainability/information/dvql4p000000yrnk-att/2023p77-89.pdf
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/dvql4p000000f222-att/2023p77-89.pdf
ESG経営の推進	日本語	https://www.srigroup.co.jp/sustainability/ https://www.srigroup.co.jp/sustainability/genki/ecology/
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/index.html
		https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/dvql4p000000f222-att/2023p56.pdf
		https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/dvql4p000000f222-att/2023p57-58.pdf
		https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/dvql4p000000f222-att/2023p59-66.pdf

あなたのタイヤに履きかえよう。



DUNLOP



噛み合うように、氷に密着。

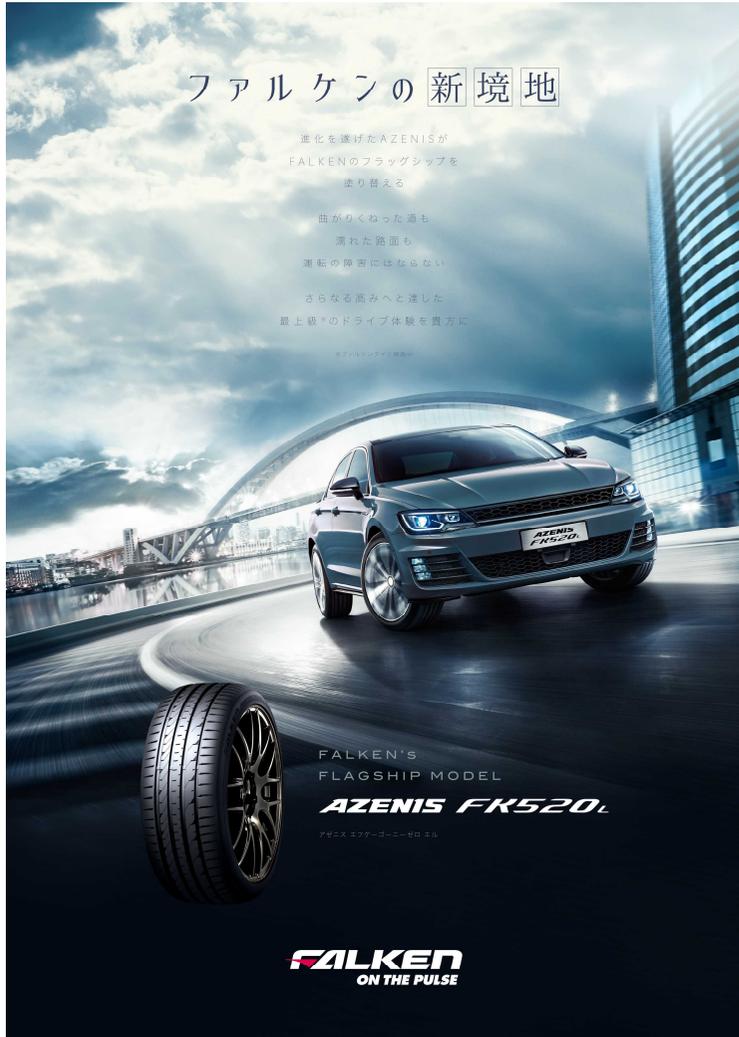
氷上性能特化型スタッドレス
WINTER MAXX 03

ファルケンの新境地

進化を遂げたAZENISが
FALKENのフラッグシップを
塗り替える

曲がりくねった道も
濡れた路面も
運転の障害にはならない

さらなる高みへと達した
最上級のドライブ体験を貴方に



FALKEN'S
FLAGSHIP MODEL
AZENIS FK520

アゼニス エコカー・ロー・ゼロ・エール

FALKEN
ON THE PULSE

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。